

すこやかちゃん



ほのか 帆乃佳ちゃん(平成15年10月4日生)
 母親=有本悠子さん〔仁玉〕
 「ステキなプリンセスに
 なりたいな♪」



あすみ 明日望ちゃん・ゆうと 優翔ちゃん
 (平成17年4月25日生)
 母親=山田広美さん〔井戸野〕
 「いつも仲よし♡毎日楽しく元気に
 遊んでるよ！元気に育ってね♡」



ゆうな 優菜ちゃん(平成19年8月17日生)
 両親=荒井伸之・わかかなさん〔江ヶ崎〕
 「にっこり笑顔で
 ハイポーズ♡」

すこやかちゃんを募集しています

掲載ご希望の方は、秘書広報課広報広聴班(〒289-2595旭市二の1920・☎62-8070)へ。
 対象は、小学校入学前の幼児です。申込用紙は、保健センター、海上保健センター、飯岡保健センター、干潟保健センター、秘書広報課にあります。

八坂神社(二)で行われる「エンヤール」は、津久舞と呼ばれる厄除け、五穀豊穰、子孫繁栄を願う芸能で、ほかにには県内の野田市と多古町、茨城県の龍ヶ崎市で残っているにすぎません。

当地では動物や人物の無言劇に続き、16メートルの柱上で繰り広げられる曲芸に目を奪われがちですが、舞い手ののぼり獅子が柱上で音を奏でている点にも注目したいところです。柱に渡した横木の左右には轡と鈴が垂れ下がり、曲芸を始める前にこれらを鳴らしています。

轡は神輿と同様、乗り物である神馬を象徴したものでしょう。そして、鈴は金剛鈴と呼ばれる密教仏具で、衆生(生命のあるすべてのもの。特に人間)に注意を喚起させるための道具です。これらは本来の使用場面が異なることから、芸能を奉納するにあたり、音を奏することで邪気を払う目的もあったように思われます。

当八坂神社は、『旭市史』によるともとは「祇園牛頭天王」と



4 神事に仏具

あさひ浪漫紀行 — 文化財を訪ねて —



称し、祭主は幸蔵寺(二)でした。祇園はインドが発祥で、釈尊が説法する場所を祇園精舎といいました。つまり仏教とつながりがあったといえます。明治の神仏分離で神社名と祭神は変更を余儀なくされましたが、手洗石に祇園を守護する祭神・牛頭天王の名が刻まれています。

それにしても、神事に仏具が取り込まれたこの組み合わせは、聖なるものに対する畏敬とおおらかさの名残を示す貴重な伝承といえます。

神仏習合の名残をもう一つ。境内には梵字サク(勢至菩薩を刻んだ石造物や如意輪観音の供養塔も祀られています。こちらは、自然崇拜を仏性に託した月待ち信仰を示したものです。

〔生涯学習課文化振興班〕

暮らしのカレンダー

- 13日(月) あさひ砂の彫刻美術展(～20日(月))
- 18日(土) 矢指ヶ浦・飯岡海水浴場オープン(～8月23日(日))
- ミス七夕コンテスト(13:30～東総文化会館)
- 飯岡海浜プールオープン(～8月30日(日))
- 旭市長選挙投票日
- 20日(月) 海の日
- 22日(水) 私の八月十五日展(～8月16日(日)東部図書館)
- 25日(土) いいおかYOU・遊フェスティバル2009(～26日(日)飯岡海岸・萩園)

古紙配合100%再生紙と環境にやさしい大豆油インキを使用しています。

市内局番「60番台→50番台」「50番台→60番台」へかけるときは「0479」が必要です。

編集後記

市の西端にある川口沼に行ってみたのは、市内でアヤメの咲く場所はないかとの、問い合わせが切っ掛けでした。調べると、5月に豊畑小の6年生が、沼の一角に苗を植えたとのこと。アジサイを背に釣りを楽しむ人を眺めながら歩いて行くと、きれいに咲くアヤメを発見。花の根元には、豊畑小のほか子ども会の看板もありました。子どもたちが作業する姿を写真に収められなかったのは残念ですが、来年もまた、きれいな花を咲かせてくれると思います。季節ごとに、訪れるのが楽しみです。場所が一つ増えました。(S)